

# 令和3年度事業報告書

社会福祉法人 やまどり福祉会

# 目 次

I. 決算監査、理事会並びに評議員会	・・・P. 1
1, 決算監査	
2, 理事会	
3, 評議員会	
II. 岩手県及び金ケ崎町主催会議等への参加並びに地域交流	・・・P. 2
III. 特別養護老人ホームあすなろの取り組み課題に対する反省	・・・P. 3
各ユニットの年間目標に対する実績と反省（評価）	・・・P. 6
各職種の年間目標に対する実績と反省（評価）	・・・P. 11
1, 介護主任・副主任	
2, 生活相談員・介護支援専門員	・・・P. 11
3, 看護師	・・・P. 14
4, 管理栄養士	・・・P. 15
VI. グループホームぽっかぽっかの家の取り組み課題に対する反省	・・・P. 16
※各委員会（あすなろ・ぽっかぽっかの家）	・・・P. 20
V. 地域密着型特別養護老人ホームすずの里取り組みに対する反省	・・・P. 25
各ユニットの年間目標に対する実績と反省（評価）	・・・P. 26
各職種の年間目標に対する実績と反省（評価）	・・・P. 29
1. 介護主任	・・・P. 29
2. 生活相談員・介護支援専門員	・・・P. 30
3. 看護師	・・・P. 31
※各委員会（すずの里）	・・・P. 31

## I. 決算監査、理事会並びに評議員会

### 1. 決算監査

開催年月日	出席者数	監査内容
令和3年5月24日	監事 2名 理事 2名	・現金監査      ・決算監査

### 2. 理事会

開催年月日	出席者数	決議事項
令和3年5月26日 第102回	監事2名 書面確認全員 理事7名 書面確認全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業報告及び収支決算承認並びに監査報告について</li> <li>・定時評議員会の招集について</li> </ul>
令和3年6月11日 第103回	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長の互選について</li> <li>・外国人介護人材受入支援事業の保証人について</li> </ul>
令和3年10月7日 第104回	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホームあすなろ空調設備更新工事の契約方法の決定及び業者の選定案について</li> <li>・ボイラー更新工事について</li> <li>・特別養護老人ホームすずの里除雪機購入について</li> <li>・特別養護老人ホームあすなろ車両購入について</li> <li>・第1次補正予算について</li> <li>・評議員会の招集について</li> </ul>
令和3年10月21日 第105回	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホームあすなろ空調設備更新工事の請負契約の締結について</li> <li>・特別養護老人ホームすずの里除雪機購入について</li> <li>・特別養護老人ホームあすなろ長期資金借入申込みについて</li> </ul>
令和4年3月10日 第106回	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次補正予算の同意について</li> <li>・令和4年度事業計画書及び収支予算書の同意について</li> <li>・職員就業規則の改正について</li> <li>・パートタイム職員就業規則の</li> </ul>

		改正について ・職員給与規程の改正について ・パートタイム職員給与規程の制定について ・育児・介護休業に関する規則の規程の改正について ・ハラスメントの防止に関する規程の制定について ・評議員会の招集について
令和4年3月24日 第107回	理事7名 監事2名	・理事長の互選について

### 3. 評議員会

開催年月日	出席者数	決議事項
令和3年6月11日 (令和3年度第1回)	評議員5名	・令和2年度事業報告及び収支決算承認並びに監査報告について ・役員を選任について
令和3年10月21日 (令和3年度第2回)	評議員7名	・第1次補正予算について
令和4年3月24日 (令和3年度第3回)	評議員6名	・第2次補正予算の承認について ・令和4年度事業計画書及び収支予算書の承認について ・理事の退任の承認及び選任について

## II. 岩手県及び金ケ崎町主催会議等への参加状況並びに地域交流

### 1. ①岩手県（県南広域振興局）

年月日	会場	実施内容
令和3年7月	書面開催	集団指導
令和4年2月14日	あすなろ	法人監査

### ②岩手県（県社会福祉協議会）

年月日	会場	実施内容
令和3年7月8日	さくらの郷	高齢協県南ブロック役員会

### 2. 金ケ崎町

年月日	会場	実施内容
5/21、7/16、9/17	金ケ崎町保健センター	地域包括ケア会議

11/19、1/21、3/18		
令和3年 8月25日	金ケ崎町保健センター	介護保険運営協議会
令和4年 3月23日	金ケ崎町保健センター	介護保険運営協議会

### 3. いわてユニットケア研究会

年 月 日	会 場	実 施 内 容
令和3年4月19日	すずの里	役員会
令和3年6月		役員会総会（書面議決）

### 4. 日本ユニットケア推進センター

年 月 日	会 場	実 施 内 容
令和3年7月6日	Zoom	研修運営委員会
令和3年7月27日	Zoom	実地施設連絡会
令和4年2月28日	Zoom	研修運営委員会

### 5. 各種団体等

年 月 日	会 場	実 施 内 容
令和3年12月2日 (いきいき岩手支援財団)	アイーナ	岩手県高齢者権利擁護看護実務者研修（講師派遣）

## Ⅲ. 特別養護老人ホームあすなろの取り組み課題に対する反省

目標1 入居者の尊厳のある生活を保障するため、ユニットケア(個別ケア)の理解と実践をとおり、サービスの質の向上や環境改善に取り組みます。

- (1) 理念塾を開催し、法人理念とユニットケアの理念を理解し、実践する。
- (2) 業務マニュアル、職員手帳による勉強会や研修を行い、周知徹底する。
- (3) コロナ禍だからこそ、ご家族とのかかわりを密にし、安心安全の提供、ガラス越し面会の機会や SNS による面会の機会を増やし、一緒に入居者の暮らしを支えるよう促す。
- (4) 家族会を発足し相互において協力関係を作っていく。
- (5) コロナ禍ではあるが社会情勢を鑑み、地域で愛される施設になるための環境整備、行事やイベントの案内、地域の社会資源の活用。
- (6) 各種委員会、チームでの活動及びマニュアルの見直し。
- (7) ユニット内の環境整備及び居室をより暮らしの場にするための取組み。
- (8) ケアカンファレンスでの24Hシートの内容精査とサービスの質の向上。
- (9) 「サークル活動」「ユニット行事」の継続。

#### 〔実績・反省事項〕

コロナ禍 2年目の生活は、家族などとの面会や外出等については、制限はあるものの、感染症対策のルールを徹底することで、ある程度緩和できた。地域との行事や

交流に関しては、昨年同様行うことができなかった。職員についても新型コロナウイルス感染予防マニュアルの徹底を強いていたが、自己責任の範囲内での行動制限にとどめ、心配な時は抗原検査キットを使い確認することとした。地域の感染状況を鑑みながら行動し、「ウイルスを持ち込まない」を実践している

入居者のストレスに対応するべく、その人らしい暮らしのリズムに合わせ、できる範囲での気分転換ができるような行事やドライブや近隣を散歩するなどの外出、ご家族とのガラス越し面会を実施した。

令和3年度もコロナ禍の為、ユニットリーダー実習の受け入れは中止、学生の実習は学生に感染対策を徹底してもらい短期間の受け入れを実施した。

目標2 コロナ禍の中で社会情勢を鑑み、地域包括ケアの担い手、地域住民の一員として括ケアの担い手、地域住民と関係機関と連携を図り、地域課題への活動を積極的に行います。地域の方が参加でき、ともに活動できる場を提供します。

- (1) サークル活動の講師や喫茶コーナー、カフェボランティア募集。
- (2) 現状実施しているボランティア活動の受け入れ、地域との交流については、今後も継続的に実施していく。

#### 〔実績・反省事項〕

昨年同様、地域との交流、外部講師の受け入れ、ボランティアの受け入れ等、一切実施できなかった。サークル活動については、職員と共にフラワーアレンジメントや習字、小物づくり、料理等楽しんだ。

目標3 基本理念に基づいた職員像、業務の標準化、職員育成及び研修プログラムの確立

により、職員が仕事を通じて成長と達成を実感できる職場環境を目指します。

法人職員としての意識の統一と自己成長につなげる職員教育を実施します。

- (1) OJT、OFF-JT、SDSの充実を図る。  
教育の基本として、日常業務中の個別指導とユニット会議などで目標を明確にし、意図的、計画的に指導する。職場外に派遣したOFF-JTは報告会として、職場内OFF-JTを開催する。SDS（自己啓発への組織的支援）として、経済的支援、時間的支援、有資格者による教育支援を行い、職員が自己成長できる環境を整える。
- (2) 各種委員会及びチームなどで、職員の課題を抽出し、研修内容につなげる。
- (3) ユニットケアというシステムを正しく理解し提供できる人材教育として、職員手帳（基本理念、方針、職員ルール、業務基準、各種マニュアルなど）を基に研修をする。
- (4) 24Hシートを教育ツールとして、個別ケア教育に活用する。
- (5) 年間の研修計画を策定し、実施、評価、フォローとPDCAサイクルに則り実

施

する。

- (6) 人事考課を含む人事管理システムの構築。目標管理、資格、受講した研修などを管理し、将来的なキャリアパスにつなげていく。キャリアパスについても見直し、職位に応じた業務内容とスキルを明確化する。
- (7) 福祉人材の確保に向け HP や SNS で PR 活動を行う。

〔実績・反省事項〕

施設内 OFF-JT

- 4月 新任研修
- 5月 食中毒予防
- 6月 理念塾 24H シートの基礎
- 7月 排泄ケア/ポジショニング（リラックスできる姿勢づくり）  
24H シートの応用
- 8月 リスクマネジメント・身体拘束
- 9月 認知症ケア
- 10月 感染症予防
- 11月 看取りケア
- 12月 リスクマネジメント・身体拘束
- 1月 虐待防止
- 2月 個別ケアの基本 24H シート
- 3月 健康管理

施設外 OFF-JT

- 8月 安全対策担当者養成研修（リモート）
- 9月 認知症介護基礎研修（リモート）
- 11月 看取り研修（リモート）

施設内 OFF-JT は例年通り実施できた。必ず全員が受けられるよう研修は業務時間内に 2 回開催した。制度改正により安全対策担当者研修、無資格者の認知症介護基礎研修の受講が求められ、実施することができた。

目標4 コンプライアンスの徹底、リスクマネジメント体制を運用することで入居者や職

員が安心・安全の中で暮らし、働ける環境を目指します。

- (1) コンプライアンスの徹底。社会福祉関係法令、労務関係法令など関係する法令やそれに基づいたマニュアルの整備、マニュアルの理解を促し、徹底させる。
- (2) リスクマネジメントの管理、運営。事故防止委員会により、ヒヤリハット、発見シートの分析、対策等を周知し、事故防止にあたる。家族との連絡を密にし、現状のリスクの報告を徹底する。
- (3) 職員が受けるリスクについても、分析し、対策を周知する。

〔実績・反省事項〕

ヒヤリハット、発見シートなどを活用し、入居者一人ひとりのリスクマネジメントを

強化し、大きな事故もなく過ごすことができた。

コロナ禍 2 年目となり、新型コロナウイルス感染防止対策を再度確認し、「ウイルスを持ち込まない」よう、職員一人ひとりの意識の統一、強化を図ることができた。

## ※ 各ユニットの年間目標に対する実績と反省（評価）

- あすなる

-

### 南ユニット

【年間目標】 24 シートの作成から活用までの一連の流れをユニット職員が理解し入居者の暮らしに寄り添い、安心して過ごしていけるよう支援する。

#### ◆ 4月～6月の重点目標

- ・声のかけ方や言葉の見直しと雰囲気づくりに努める。
- ・24H シートの出来ている所、足りない所を洗い出す。
- ・担当以外の24Hシートを見て、意見を出し合い共有する。

#### 〔実績・反省事項〕

- ・たくさん声を掛け楽しく会話できたが、立ち話が多く、視線を合わせてゆっくりとお話する時間を設けるのは難しかった。
- ・目上の方という意識は忘れずに、かつ安心感を持ってもらえるように接した。
- ・4月から6月のミーティングで、大まかにだが、10人分のシートをユニット職員で確認し合えた。
- ・少しずつ変化していている箇所の更新は変化の程度を観察してからになることもあり、リアルタイムで追いつかなかったりして、そこも難しいと感じた。

#### ◆ 7月～9月の重点目標

- ・清潔を保持し、体調管理に努める。
- ・一人一人に寄り添い楽しみを共有する。
- ・24H シートの一連の流れをミーティングで確認し、疑問点を挙げ話し合う。

#### 〔実績・反省事項〕

- ・パット交換や入浴時にボディチェックをしつつ清潔を保つよう綺麗にした。ベッド上の汚れなども気にしながらリネン交換も出来ていた。
- ・体調を崩す入居者も多かったが、他職種と協力しながら対応できていた。
- ・ユニット内がほこりだらけだったり、食べこぼしがそのままだったり、洗濯物が違っていたり等、掃除が行き届いていなかった。
- ・風船バレーをしたり歌が好きな人とは一緒に歌ったりと、時間の空いた時には一人ひとりとゆっくりと話しができた。また、ユニットのみんなで花火もでき、楽しく過ごす事

が出来た。

・納涼祭は、みんな喜んでいたので大成功だったと思う。なかなか外出もできず楽しみが減っているなかで、みんな笑顔で楽しめたので良かった。

・ミーティングでは、カンファレンスを行った入居者さんの 24 時間シートの確認はできた。それ以外の方のシートについては、なかなか時間がとれず細かく話し合いができなかった。

◆10月～12月の重点目標

- ・季節を感じる企画を計画し、楽しみを共有する。
- ・入居者のペースを大切にし、良い雰囲気づくりをする。
- ・清掃に力を入れ、清潔保持の徹底を図る。

〔実績・反省事項〕

・ドライブも焼き芋も出来ていないので、来月にでもやりたい。施設の周りに栗の木があるようなので、散歩がてら栗拾いも良いのではと思っている。

・天候も悪い日が多く、今月のドライブは難しかった。来月頭にでも行きたい。

いろいろな企画案は出していたが、日々忙しく、実行することが出来なかった。

・急かす事なく、入居者のペースに合わせてケアしていた。

・家に帰りたいがる入居者に対しては、なるべく納得できる方向に持っていけるような話し方が出来た。落ち着いた。

・毎日部屋の清潔を保つことは難しかったが、自分の居室担当を中心に清掃、整理整頓し、気持ちよく過ごしてもらえるよう取り組むことが出来た。換気が不十分だったので、忘れずに取り組んでいきたい。

・掃除機が新しくなった為、床掃除もいつもより捗り、人手が多い時には床の水拭きに取り組めた。

・年末は特に意識して床拭きや畳の上の物の整理に取り組むことが出来た。

◆1月～3月の重点目標

- ・家族との交流、コミュニケーションを円滑に図り、距離を縮める。
- ・現状と24Hシートを照らし合わせ、再確認と情報の共有を図る。
- ・感染予防に努める。

〔実績・反省事項〕

・コロナ禍で家族と直接関わる機会が少なかったため、手紙で様子が伝えられるようによく考えて書いた。

・体調を崩している方や看取りの方の家族様へは電話での状態を詳しく報告し、安心してもらえた。

・24hシートの再確認は、自分の居室担当の分は出来たが、それ以外まではなかなか出来なかった。

・カンファレンス後、その内容を日誌の引き継ぎ項目に記して情報共有できた。

・トイレ掃除やテーブル、手指消毒は継続して出来ていたが、手すりの消毒がなかなか追いつかなかった。

・キッチンまわりは遅番帯で意識して綺麗に保つことが出来ていた。

・寒いと換気が疎かになっていた。段々に温かくなってきたので、換気も意識して行な

うようにする。

## 西ユニット

- 【年間目標】
- ・入居者の気持ちに答え、過ごしやすい環境を作る。
  - ・24Hシートの作成、更新を手早く行い活用し、お互いの関係性を深められるよう支援していく。

### ◆4月～6月の重点目標

- ・24Hシートを活用する為の話し合いを、ミーティングで行い実践していく。
- ・入居者が安心して、くつろげる環境づくり。
- ・24Hシートを基に業務の見直し。

### 〔実績・反省事項〕

- ・入居者に対してはその人の気持ちになって考え、ユニット職員みんなで対応を考えたり、その人の思いを尊重してケアする事が出来た。
- ・入居者に対しての言葉遣いや態度はある程度の信頼関係が出来ているコミュニケーションは出来ていた。ただ、少し馴れ馴れしすぎるなど、まだ改善しなくてはいけない場面等あるので今後直改善していきたい。
- ・雰囲気づくりでは、職員の中でも雰囲気作りが上手な人や苦手な職員が居るので、今後は上手い人や他ユニットの様子を見てマネできる所や学べるところを実践していきたい。
- ・業務に追われ忙しい中だと少なからず態度は出ていたと思うので、職員同士注意していきたい。
- ・24Hシートを見直す機会はあったものの、更新が不十分で終わった所もあった為、ユニットミーティングなど活用して定期的に見直していきたい。

### ◆7月～9月の重点目標

- ・畑を活用し、入居者と一緒に楽しむ。
- ・24Hシートを円滑に活用できているか確認する。
- ・入居者の為の環境づくり。

### 〔実績・反省事項〕

- ・今年もユニットのプランターを活用し野菜や花を育てることが出来た。来年度も活用し入居者と楽しみながら作っていきたい。
- ・毎月、出来る時は行事食を計画し実行できた。入居者の食べたいもののリクエストを聞いて一緒に作ったり食べたりし、雰囲気も楽しむ事が出来た。
- ・家族とは新型コロナウイルス感染防止のため面会制限がある中、月ごとのお便り（日々の暮らしのまとめ）を作って様子を伝えることが出来た。
- ・ガラス越し面会に来た時や電話などでしっかりと様子を伝え家族と積極的にコミュニケーションをとる事が出来た。

### ◆10月～12月の重点目標

- ・家族とコミュニケーションを取り、より良い関係を作る。
- ・入居者が楽しめるような企画作り。

- ・感染予防等、清潔に努める。

〔実績・反省事項〕

- ・紅葉ドライブの計画や、旬の物で行事食を作って食べたりして楽しんでもらった。
- ・記録は出来るだけ詳しく入れるように心掛けているが、業務に追われたりしてうまく記録が出来ていないところがあった。またリーダー中心に記録を確認しながら、業務を見直して分かりやすく詳しい記録に出来るよう改善していきたい。
- ・日報も活用できた時もあれば、まだまだ使いきれていない所もあった。
- ・意識してユニット内の清潔を保つよう掃除や整理整頓、消毒を行うようにした。しかし継続的にできていないことや、足りていない部分もあるので、時間を見つけ実行していきたい。

◆1月～3月の重点目標

- ・入居者、職員の体調管理。
- ・1年をとおして24Hシートの活用、更新等の反省。
- ・今年度の反省、来年度への目標。

〔実績・反省事項〕

- ・手洗いや食事前の手指消毒を出来るだけ忘れずに行っていたが、爪が長かったり食後の食べこぼしが目立ったりと改善したい面があった。
- ・熱発などあった際に早期発見できるように入居者の様子をしっかりと観察把握していきたい。また変化があった際の報告をしっかりと行ない、情報を共有し次へしっかりと申し送っていけるようにしていきたい。
- ・入居者の希望に添える様に入浴時間に気を配りながら温度に気を付けたり、入浴を楽しんでもらえるよう、入浴剤を使用して満足してもらえるよう工夫した。
- ・今年度は、業務の進み具合や、記録が不十分な所があった。また24Hシートの更新や活用をさらに良くしていけるよう、来年度は業務の見直しを行い改善していきたい。

**東ユニット**

【年間目標】 ・入居者・家族が何を思い、何を考え、何をしたいか気持ちを汲み

取りながら支援する。

・楽しく、安心した暮らしを送れるよう「自分に出来る事」を常に

考えながら支援していく。

◆4月～6月の重点目標

- ・24Hシートを毎月見直し、変更点は修正する。(意向・好みの再確認)
- ・入居者とかかわる時間を多くし、信頼関係を築いていく。
- ・職員間での情報共有をしっかりと行い、ケアの統一を図る。

〔実績・反省事項〕

- ・意向・好みの再確認について皆が意識して取り組めた。

- ・変更点などを職員間で相談することも増えて良かった。
- ・赤ペンでの修正やパソコンでの更新については、時間を見つけれずできないことが多かったので、今後はうまく時間を調整しながら更新を行なえるようにする。
- ・新規入居があった際にはどんどん情報収集を行ない、職員間でしっかり共有できるようにする。また、今後は入居者の状態変化や対応方法の検討などについてもっと声を出し合って取り組んでいく。

◆7月～9月の重点目標

- ・テラスを活用する等、入居者と楽しみを共有出来る環境を作る。
- ・職員の態度や言葉遣い、入居者への接し方を見直す。
- ・苦手な部分を克服できるように、技術等ケアの見直しと実践を行う。

〔実績・反省事項〕

- ・外出支援に関しては、新型コロナウイルスの影響もあり、殆ど行うことができなかった。
- ・行事食については、入居者が楽しめそうなイベントを皆で話し合い、昼食会を実施することが出来たので良かった。
- ・入居者の状態や天気を見ながら今後外出支援を行なえるよう取り組む。また、日々の暮らしの中でも楽しみを感じてもらえるように職員間で相談しながら行っていく。
- ・気を付けてはいるが、苛々したり気持ちに余裕がなくなると言葉や態度に出てしまったりするので、今後は気持ちに余裕をもって落ち着いて行動できるようにする。気付いた時には職員同士で注意し合いながら意識して取り組んでいく。

◆10月～12月の重点目標

- ・24Hシートを見直し、現状に合わせて修正を行い、担当者以外の24Hシートも確認する。
- ・入居者主体のケアを行う。

〔実績・反省事項〕

- ・24Hシートの更新についてはなかなか進まなかった。うまく時間を見つけて実施できるよう、各自意識して取り組むようにする。
- ・修正・更新を行った後は職員間で報告・共有を行うようにする。
- ・職員主体のケアにならないように皆が意識して取り組んでいる。優先順位やリスク管理を行ないながら今後も継続して取り組む。
- ・入居者の訴えに耳を傾け、意向に沿った対応をしていく。

◆1月～3月の重点目標

- ・感染症予防をし、体調管理に努める。
- ・ユニット内の清潔保持、過ごしやすい環境を作る。
- ・来年度の目標を考える。

〔実績・反省事項〕

- ・手指消毒に努め、職員自身も感染対策を常日頃から心掛けて過ごすことができた。
- ・気温の寒暖差も激しいが、居室の温度管理をこまめに行えるようにする。
- ・介助を行なう際に熱感がないか等注意しながら行えているので、今後も継続して体調不良・状態の変化などの早期発見に努めていく。

・来年度の目標として、居担の役割を整理する(居室の整理、状態の把握、相談・報告等)。情報共有、報告・連絡・相談の体勢作りを強化していく。コロナ禍で家族になかなか会えず外出も難しい為、何かイベント等を増やし、入居者に楽しみを感じてもらおう機会を増やしていく。中庭も活用していく。

## ※ 各職種の年間目標に対する実績と反省（評価）

- あすなろ

-

### 1、介護主任・副主任

「 重点目標 」

・ 思いを大切にし、一つでも多く形にしていく。

≪4月～6月のサービス目標と実績・反省点≫

サービス目標) ○リーダー育成 ○新人育成 ○「暮らし」を家族と共に考える

〔実績・反省事項〕

・リーダー会議にて、職員手帳・ケアマニュアル・ハンドブックを基に、ユニットケア・リーダーの役割について確認と指導を行った。一つ一つ根拠を確認する事で理解を深める事が出来た。記録に関しては、委員会を通して、暮らしぶりが見える記録にするよう指導し、以前よりは暮らしが見えるようになり他職種の記録も増えた。が、職員によってばらつきが見られた。今後、個々に指導していく。いろんな観点からの記録を基にし、家族への相談を行いながら、今後も入居者の暮らしを支えていく。

≪7月～12月のサービス目標と実績・反省点≫

サービス目標) ○現任育成 ○24Hシート勉強会 ○介護記録の確認 ○委員会の充実 ○カンファレンスの実施 ○「暮らし」を家族と共に考える

〔実績・反省事項〕

・施設内研修や委員会等を活用し、職員手帳を基に研修を行った。基本的な考えは理解できていたので、日頃のケアを行っている中での疑問や不安に思っている事等、話し合い、共有する事で安心してケアに携わっていたので良かったと思う。24Hシートについては、一覧表の活用が上手くできなかったため、活用できるよう勉強会を開催していく。「ここでどのように暮らしていきたいか」という事を意識しながら情報収集し、家族と情報共有しながら暮らしを支えていく。

≪1月～3月のサービス目標と実績・反省点≫

サービス目標) ○年度の反省と評価 ○現任育成の対応 ○次年度に向けての目標設定

〔実績・反省事項〕

・今年度は思いを大切にし、一つでも多く形にしていく事を目標に取り組んだ。入居者様・職員が発信しやすい環境作りや雰囲気意識し、自分の思いや考えを発信してもらおう事で、それぞれの思い・考えを共有する。そのことから理解を深める

事が出来き、適切な指導が出来るようになったが、成果としては、まだまだこれからなので、次年度は成果が出るよう取り組んでいく。

## 2. 生活相談員・介護支援専門員

- あすなろ -

### ◆生活相談員

「 重点目標 」

- ① 家族、地域との連携を密に図り、施設の認知度を広め、高評価をさらに獲得していく。
- ② 入居者の自己実現を叶えるため、あらゆる角度から模索し支援していく。

〔実績・反省事項〕

- ① コロナ過ではあるが、家族との関係性を保つためにこまめな報告・連絡を徹底して行った。また、面会方法についても毎月感染委員会で検討し、感染状況に合わせた面会を実施できている。地域との関わりについては、コロナの状況からなかなか交流の機会がつかれない状況である。
- ② 入居者が自分の思いや、やりたいことを話しやすいように毎日コミュニケーションをとるように心掛けた。話を聞く中で、要望があれば協議しなるべく思いが叶えられるように取り組んだ。

≪4月～9月のサービス目標と実績・反省点≫

サービス目標) ①入居者個々の暮らしの把握 ②家族との信頼関係の構築  
③一体感のある施設づくり ④地域とのつながりの充実  
⑤関連施設、医療機関、行政担当者との関係構築

〔実績・反省事項〕

- ① 入居者の入居前からの暮らしを参考に、ユニットケアで暮らしの継続ができるようにこまめにアセスメントに取り組んだ。
- ② 入居者の入居前から家族との関係性づくりを心がけ、おおよその家族とは信頼関係が構築できている手応えがある。今後も関係性の向上に努める。
- ③ 3ユニットと多職種で大枠の方向性の確認はできてきた。今後は施設の方針やマニュアルを基に、風通しの良い意見が飛び交う施設づくりをしていきたい。
- ④ コロナ禍であり、地域との交流ができない状況が続いている。
- ⑤ 関連事業所や医療機関の相談員からの問い合わせなどは、丁寧に対応し、今後も家族への入居申し込みの案内をお願いしている。

≪10月～2月のサービス目標と実績・反省点≫

サービス目標) ○入居者個々の暮らしの把握 ○家族との信頼関係の構築  
○一体感のある施設づくり ○地域とのつながりの充実  
○関連施設、医療機関、行政担当者との関係構築

〔実績・反省事項〕

- ・4月～9月までの実績・反省に同じ

### 《3月のサービス目標と実績・反省点》

サービス目標) ○次年度への取り組み

〔実績・反省事項〕

- ・これまで同様、入居～退居までの一連の流れを円滑にできるよう調整役として、チームケアの充実に努め、ユニットケア（個別ケア）の質を向上させたい。
- ・職員の不足やコロナ過の影響で職員の士気が下がっている。職員が生き生きと働き一体感のある施設づくりを目指し、今後もサポートしていく。
- ・前期同様に入居申し込みが多くない。今後も関係各所との関係性を築けるよう対応し、安定した入居申し込み数を確保できるようにしたい。

### 《地域・ボランティアとの交流・行事の実績》

・前期同様にコロナ禍のため地域・ボランティアとの交流は見合わせている。行事については職員で工夫して季節に合わせた催しや行事食を提供し、入居者の気分転換に役立っている。

### 《相談業務等の実施実績》

- ・入居申込～退居までユニットや多職種と連携することで一連の流れを円滑にすすめることができた。
- ・施設内での情報共有に努め、入居者のケアの充実につながった。

### ◆介護支援専門員

- あすなろ -

「重点目標」

- ① 施設理念とユニットケアを実現するケアプランを立てる。
- ② 入居者個々の希望と状態に応じたケアプランを作成し、暮らしの継続支援ができるよう努める。

〔実績・反省事項〕

- ① 理念に基づき、ユニットケアを活かしたケアプランを作成することができた。
- ② ユニットや多職種との連携をとり、入居者の状態をこまめに把握したり、直接コミュニケーションをすることでニーズを探ることでケアプランに反映させることができた。しかし、自宅とはやはり環境が違うこともあり、暮らしの継続という意味ではまだまだ実現できていないと感じている。

### 《4月～9月のサービス目標と実績・反省点》

(サービス目標)

- ① 入居者との関わり合いを通しての状態把握
- ② 他職種連携によるケアカンファレンスの充実
- ③ 地域包括ケア推進への取り組み

〔実績・反省事項〕

- ① 入居者とのコミュニケーションや担当職員からの聞き取りでアセスメントがしっかりできた。今後も同様の取り組みをしていく。
- ② 入居者のカンファレンスを定期、状態変化時に開催し、入居者や家族本位のケア方針を立てることができた。今後も同様の取り組みをしていく。

- ③ コロナ禍が続いており、積極的な活動はできず、地域包括ケア会議への出席のみとなってしまった。今後の動向をみながら、地域や包括支援センターと関わりを深めたい。

《10月～2月のサービス目標と実績・反省点》

サービス目標)

- ① 介護支援専門員としての資質の向上
- ② 職員育成
- ③ 地域包括ケア推進への取り組み

〔実績・反省事項〕

- ① 関連各所との関わりや情報交換から学習し、業務改善を常に心がけている。
- ② 職員へアドバイスできる立場になるために、コミュニケーションを心がけて関係性の構築ができるようにした。そのため、育成のための取り組みは今後の課題である。
- ③ (4月～9月)に同じ。

《3月のサービス目標と実績・反省点》

サービス目標) ○次年度の取り組み

〔実績・反省事項〕

- ・今後も、入居者や家族との関わりを大事にし、理念に基づいた暮らしの継続を目指したケアプランが立てられるように取り組む。
- ・コロナ禍であるが、地域包括ケアを心がけて、地域や包括支援センターと連携ができるよう関係性づくりを意識する。

《要介護度更新認定申請及び委託認定調査の実績》

- ・更新代行申請は60日前から家族に連絡して行っている。
- ・委託調査依頼があれば、速やかに調査を行っている。

### 3. 看護師

(「あすなろ」及び「ぽっかぽっかの家」)

「重点目標」

- ・施設における感染防止に努める。
- ・24Hシートの記録の充実を図る。

〔実績・反省事項〕

- ・ユニットスタッフとの連携を密にし、体調不良者の対応は適切に行う事が出来た。
- ・7月に医療的ケア研修を行なった。
- ・24時間シート入居者に対する具体的な指示の記録が出来ない事があった。

《4月～6月のサービス目標と実績・反省点》

サービス目標) ○感染防止

〔実績・反省事項〕

- ・ユニットスタッフとの連携を密にし、体調不良者の対応は適切に行う事が出来た。
- ・新型コロナワクチン接種を5月・6月に実施した。

≪7月～12月のサービス目標と実績・反省点≫

サービス目標) ○感染防止

〔実績・反省事項〕

- ・ユニットスタッフとの連携を密にし、体調不良者の対応は適切に行う事が出来た。
- ・7月に医療的ケア研修、10月にコロナの感染対策の研修を行なった。

≪1月～3月のサービス目標と実績・反省点≫

サービス目標) ○感染防止

〔実績・反省事項〕

- ・ユニットスタッフとの連携を密にし、体調不良者の対応は適切に行う事が出来た。
- ・新型コロナウイルス感染予防については、感染症対策委員会の会議を開催し面会制限等の取り組みや職員の行動制限など意識統一が出来たことで、予防につながった。
- ・玄関・ホール等アルコールを用いての環境清掃を行なった。
- ・消毒液（アルコール）の補充を行なった。
- ・新型コロナウイルスの感染状況を見ながら面会制限や職員の行動について検討した。
- ・入居者の熱発者、県外からの面会者のコロナ抗原検査をおこなった。

#### 4. 管理栄養士

（「あすなろ」「ぽっかぽっかの家」「すずの

里」）

「重点目標」

- ・食をとおした楽しみを入居者・職員・ご家族と共有し共に潤いある生活を送る支援を行う。
- ・最期まで口から食べる事を支援するため職員と家族が連携を図りながら双方で協力し実践する。

〔実績・反省事項〕

- ・日々の食事の様子や会話の中から食べたいものをユニット職員が作り提供した。また協力が得られる家族には差し入れていただくようお願いした。
- ・看取り期を迎えられた入居者でも、食べたいものがあれば提供するよう努めた。ゼリー類、アイス、プリンなど喉ごしが良く食べ進みが良いものがあれば、調子が良いときには食べていただいた。

≪4月～2月のサービス目標と実績・反省点≫

サービス目標) ○ユニットケアに基づいた食事提供の充実を図る  
○食事イベントを開催する

- 食中毒予防の為の知識を周知する
- 家族と栄養ケアについての情報を共有する

〔実績・反省事項〕

- ・ユニットキッチンを活用し、ご飯炊き、味噌汁作り、おかずの湯煎調理作りはユニット職員が継続的に行った。
- ・毎月、「お楽しみランチ」を開催し、入居者のリクエストが多い料理を中心に提供した。
- ・施設全体の行事食は4月に「花見弁当」、7月納涼祭の屋台、9月敬老会の「お祝い弁当」を職員で協力して作り提供した。
- ・6月に「食中毒予防研修」を施設内で開催し「食中毒予防マニュアル」の周知を図った。

≪3月のサービス目標と実績・反省点≫

サービス目標) ○年度の反省と次年度に向けての計画をする

〔実績・反省事項〕

- ・コロナ禍で外出や外食が厳しい状況で、より一層入居者様にとって食べる楽しみの重要性を再認識した。ユニット職員が日々の暮らしの中で工夫を凝らし手作りの料理やおやつを提供した。
- ・昨年から開催した「お楽しみランチ」は定着し毎月開催することができた。
- ・次年度は入居者様の身体状況・嚥下機能に配慮しより一層きめ細やかな食事支援を行う。

#### IV.グループホームぽっかぽっかの家の取り組み課題に対する反省

1. 利用者入居状況等

(1) 令和3年度 平均稼働率 90.7%

(2) 令和3年度3月末現在の入居状況(定員9人)

男性	1名	女性	8名	計	9名
----	----	----	----	---	----

(3) 退所人数

2人

(4) 退所理由

身体機能低下が進み介護度の増加、介護量の増加により定期他科受診が難しく

なったこと、本人、家族の希望により特養に転所された。

2. 健康管理

(1) 日常の健康管理の取り組み支援

- ・心身の状況観察、食事、水分の摂取状況、量の把握、排泄の状況、把握、記録し職員で情報共有し、対応する。
- ・週1回の施設看護師の巡回に合わせ報告相談、必要時は随時報告、連絡、相談し、指示を仰ぎ適切に対処する。
- ・週に1回施設医の回診、必要時は随時報告連絡相談を行い、指示を受け対応する。
- ・緊急時や、事故など家族への連絡報告をして理解を頂く。

- ・家事や散歩、体操、身の回り事はできる範囲で毎日行っただき活動量の低下を防ぎ心身機能の維持に務める。  
[健康管理の取り組み実績、反省]
- ・日々の生活の中で利用者の状態把握を行い、記録や申し送り、ミーティング等で情報共有し、異常の早期発見につなげ、悪化や重症化の予防ができた。
- ・看護師、Dr、多職種に報告、相談し指示を仰ぎ対応した。
- ・家族への連絡報告を密に行い、理解を頂いた。
- ・利用者様個々の日々の生活の見直しを行い、身の回りのできる事への参加を促し活動量アップにつなげ、概ね身体機能の維持ができた。職員によって対応がまちまちの事もあり、今後に向け職員の意識改革を行い、周知徹底を図る事が必要。

## (2) 健康診断等実施状況

年	実施日	項目	実施場所
3年	10月13日	胸部X線写真	いわぶちクリニック
	10月15日	//	//

## 3. 排泄支援

### (1) 排泄状況（令和3年3月末現在利用者）

自力でできる	.....	3人
一部介助	.....	4人
全介助	.....	2人
リハビリパンツ・パッド使用者	.....	6人
下着利用者	.....	2人

### (2) 取り組み

- ・バランスの取れた食事、水分の摂取状況、量の把握し不足しがちのときは声掛け、誘導する。
- ・排泄状況の観察をして状況を把握し声掛け、誘導し失禁防止を図り、リハパンやパットの使用量抑制に努める。
- ・できるだけ残存機能の維持を図り、安易にリハパンやパットの使用に移行しない。できない部分での支援とする。
- ・排泄支援時は自尊心や羞恥心に配慮する。
- ・ケアカンファレンスを随時行い確認する。

### [排泄支援の取り組みの実績、反省]

- ・排泄状況の観察、記録、連絡、申し送り、ミーティングを行うことで情報共有を行いスムーズな排泄に努めることができた。
- ・カンファレンスやミーティングにより、対応の仕方や良好な支援方法等を模索し清潔の保持ができ、個々の状況に応じたサポートができた。

#### 4. 入浴支援

- 希望や体調を考慮し個々の入浴の楽しみ方、サポート内容を検討し、24シートで管理し事故のない満足できる支援とする。

##### [取り組み実績、反省]

- 脱衣場、浴室の環境整備（室温、器具の点検、清掃、動線の確認）を行った。
- 浴室内、入浴時間、浴室内の移動時等観察を十分にし、事故防止に努め入浴中の事故はなかった。
- 過剰な支援とならないようにできるところはやっていただき、意欲の低下や依存心、出来ないことが増えないように心掛けた。
- 拒否の強い方に対して言葉掛けや誘導の仕方を工夫し、深追いせず楽しく入浴できるように努めた。
- 入浴前にバイタル測定を行い、入浴中は全身状態の観察をし、皮膚の状態等異常の有無に留意し、入浴後は水分補給を行い体調管理ができた。

#### 5. 外出支援

##### [取り組み実績、反省]

- 気分転換、季節感、活動量上げ、心身機能の維持ができる。施設前でお茶会、日向ぼっこ、散策、ドライブ等できる範囲で行った。
- 本人の希望、意向の尊重をして自由に取り組みをしたがコロナ感染症予防の観点からあり外出を控えざるを得ないところもあった。

令和3年

4/15 展勝地、男山、すずの里お花見ドライブ

11/6 産直六ちゃん祭り（餅拾い）運動公園白鳥見る

11/18 夏油高原ドライブ

1/19 初詣 白山神社

その他 施設周囲散歩、施設前にてお茶会、日光浴  
畑の収穫手伝い

#### 6. 職員の研修実施

##### [職場内研修実績]

5/17、31 食中毒

6/17, 22 理念塾

6/29 24シート（記録の仕方）

7/26, 30 痰吸引

7/10、22	ポジショニング
8/30	類天疱瘡について
9/24, 30	認知症
9/29	施設での自立支援について
10/18, 29	感染症
10/27	認知症高齢者の虐待防止、身体拘束
11/22, 30	看取り
12/2	身体拘束、OJT、排泄介助

[外部研修、実績]

介護福祉士実務者研修（R3/10月初旬～R3年11月中旬まで7回受講）  
（R4/1月末、介護福祉士試験受験）

#### 7. その他研修、実績

KTSIB 学生受け入れ各 3 人 R3/10/11～15（1人） R3/10/18～22（2人）

#### 8. 取り組み課題に対する反省

目標 1・個別ケアの理解を深め、自立支援を念頭に、入居者様と生活を共にするパートナーであり続ける介護を目指す。

- (1) 理念塾を開催し、法人理念と個別ケアを理解し、実行する。
- (2) 業務マニュアル、職員手帳による勉強会や研修を行い、周知徹底する。
- (3) 自立支援「～をしてあげる介護はしない」を念頭に入居者に寄り添い、居室担当制とし入居者のニーズを把握、意思を尊重し、安心して生活ができるように支援する。
- (4) 個別支援計画作成にあたり、ケアカンファレンスの実施、ご家族と連絡を密にし、信頼関係を構築し、入居者様の「望まれる暮らし」「その人らしい生」活が送れるように努める。
- (5) 健康管理について、バイタルチェック・観察を行い、あすなろ施設看護師、施設Drと連携し、週1回、医務ミーティング、回診を通して情報共有し、体調管理を行う。
- (6) 食事については、敷地内周囲で収穫した野菜や山菜等旬の食材を使い、季節感、ふるさと感のあるメニューを提供する。食事形態や量、嗜好を考慮する。衛生管理を行い食中毒予防をする。
- (7) 入浴支援については、希望や体調を考慮し、個々の入浴の楽しみ方、サポート内容を検討し、安全で安心できる入浴、満足度の向上、残存機能の向上を目指す。
- (8) 排泄支援については、プライバシーに配慮した声掛け、個々の状況に応じたサポートを行い、清潔保持に努める。適切な運動や水分補給を行うことで、スムーズな排泄ができるように支援する。
- (9) レク活動については、入居者全員で行うもの、個々の趣味、希望に沿った活動

を家族を含め、計画・実行していく。認知症予防の脳トレやコロナ禍のできる範囲で外出支援、屋外活動を増やし、気分転換を図り心身機能の維持に努める。

#### 〔実績・反省事項〕

(1)、(2) あすなろ合同の研修に参加、職員ケアカンファレンス、勉強会を行ったが、振り返りを行い研修の習熟度を上げるように、さらに勉強会を持った方が良かった。

(3)、(4)、(5) 24シートの見直しをし、話し合いにより改善点の直しも行うことができたが、まだまだ不十分であり、勉強会や研修が必要であった。今後の課題としていく。

毎月のぽっか便りを配布し本人の近況や施設の行事などの連絡を行った。

受診時や利用料の支払い等で来所された時は窓越し、パネル越し、ソーシャルディスタンスを保ち短時間の面会もできた。多職種、医務との情報共有、連携を行い、大きく体調を崩す方はいなかったが、徐々に身体機能の低下により介護度が上がる方はおられた。

(6) 味の好みや嗜好に配慮し手作りで季節の野菜や山菜を使い季節感を感じてもらうように、一緒に食材の処理や収穫を行い楽しんでいただいた。食材の賞味期限や台用品、流し、ガス回り等、台所の衛生管理を行い食中毒もなかった。

(7)、(8)、(9) 前述の排泄支援、入浴支援、外出支援に同じ。

(10) 新型コロナウイルスの感染症予防により各種行事の中止、面会、外出の自粛により地域との関わり、活動はほぼできなかった。

#### 目標2

・コロナ禍ではあるが、できる範囲で地域と一緒に高齢者や障害者、生活支援を必要とする人々の暮らしを考える場、人と人をつなぐ場として活動します。

(1) あすなろで開催する地域の方々等参加する行事に積極的に参加する。

(2) 地域で開催される行事、幼稚園や学校の行事等に積極的に参加する。

(3) 運営推進会議を通して関係団体、地域団体と連携し情報収集し交流を深める。

(4) 地域の方、ご家族の方が気軽に立ち寄り、交流することができる開かれたグループホーム、認知していただける、地域へ発信できるグループホームを目指す。

#### 〔実績・反省事項〕

・新型コロナウイルス感染症予防のため外出の自粛、地域、施設の各種行事の中止、運営推進会議の書類配布による開催とするなど、積極的に地域と交流、活動することはできなかった。ぽっかだよりを毎月作成し写真や近況を載せご家族、親戚の方々にお渡ししたことは好評であった。継続していく。

## ※ 各職種の年間目標に対する実績と反省（評価）

### グループホーム介護支援専門員

#### 「重点目標」

- ・入居者の個々の思いや意向を尊重し、理解に努め「その人らしい」生活ができるように支援する。
- ・地域に発信でき開かれた、地域と共にあるグループホームを目指す。

#### 〔実績・反省事項〕

- ・職員目線ではなく、一人ひとりの思いや意向、人格尊重をした支援、統一した支援となるように、十分な観察のもと状態把握し、ケアカンファレンスの開催、勉強会を行い話し合いを重ねた。今後の課題として振り返りや認知症についての勉強の機会を増やし、職員の意識の持ち方を統一できるようにする。
- ・新型コロナウイルス感染症予防もあり地域との活動の場は残念ながらなかった。
- ・地域に発信する方法については今後検討が必要であった。

#### ≪4月～ 8月のサービス目標と実績・反省点≫

- サービス目標） ○入居者の方々の理解（本人、家族の思いや意向、状態把握）  
○職員、多職種との情報共有し連携する。  
○家族と信頼関係の構築。

#### 〔実績・反省事項〕

- ・日々の暮らしの中での入居者、職員との会話やふれあい、行動などから本人の思いや心身の状態について理解するようにした。
- ・家族来所（利用料の支払いや受診、面会）時や、電話連絡などで本人の暮らしぶりや体調などについて報告し、毎月のぽっかだよりを作成し職員からのコメントをのせ家族に宛てに届け、理解、共有を図るようにした。
- ・職員や多職種との情報共有は連絡ノートや毎日の申し送りノート、24シート、ミーティング等より共有を行った。

#### ≪9月～ 1月のサービス目標と実績・反省点≫

- サービス目標） ○入居者と良好な関係の構築。  
○個々に応じた統一した支援ができる。  
○地域とともにある施設を目指す。

#### 〔実績・反省事項〕

- ・日々の会話や観察、寄り添いの姿勢で言葉がけやふれあいによりコミュニケーションを心掛け、思いを受け止め、理解をするようにした。
- ・随時記録や申し送り、ミーティングをし、職員間で情報共有し支援の統一を図った。24シートの記述内容、記録の仕方について職員間の勉強会や精査が不十分であった。
- ・利用者の状態変化に応じたチェックリストの作成や、アセスメントの見直しが不十分であった。
- ・コロナ感染症予防のため地域との交流の機会は希薄であった。

#### ≪2月～ 3月のサービス目標と実績・反省点≫

サービス目標) ○年度の反省と評価  
○次年度の取り組み

〔実績・反省事項〕

- ・認知症、その周辺症状について施設内研修、ミーティング等で理解に努めた。認知症が病気である事、周辺症状についての習熟度について、ケアを行う上で職員の理解が不十分であった。今後の課題として、くりかえし研修や話し合いを行い、理解を深めたい。
- ・その人らしさ、個々の思いを受け止め尊重する、個別性のあるケアを実践するため職員が折に触れ、随時話し合いや職員ミーティングで確認を行った。今後も常に話し合いや職員ミーティングをし、ケアに活かせるようにしたい。
- ・チームケアとして情報共有し、協力して利用者様に向き合うというところでは、不十分であった。統一したケアを行えるように、認知症への理解や理念についての習熟度を上げ、職場での職員の意識の持ち方、チームケアの重要性について確認していく。
- ・職員主体のケアとならないように常に振り返りを行っていく。

## ※ 各委員会

(「あすなろ」及び「ぽっかぽっかの

家」)

### 1. 事故防止・身体拘束廃止委員会

活動目標(目的): ○ヒヤリハットを沢山出すことで、気付きや意識付けを図りひいてはサービスの向上を目指し事故防止に努める。  
○身体拘束ゼロの実現に向け施設全体で取り組む。

〔実績・反省事項〕

・ヒヤリハットを提出し、情報を共有する事で事故を未然に防ぐ事が出来た。今後も、日々の暮らしに潜むリスクを予想し、その人らしい暮らしが送れるよう、また、事故を未然に防ぐことや、怪我が最小限に抑えられるような対策を講じられるように、委員会を中心に検討し様々な事例等を基にしながら、施設内研修で取り組んでいく。

### 2. 食事支援チーム

活動目標(目的): ○食べたい物をタイムリーに提供できるよう、また、食べる・作る楽しみ、喜びを共に共感する。

〔実績・反省事項〕

- ・季節の食材を取り入れた物や、ちょっとした料理を作って出すことが、以前より出来るようになり、入居者さまも喜んでいました。また、状態により食形態が変わったり、食欲が落ちている入居者には、家族の協力を得ながら食べれるよう支援する事ができました。

### 3. 排泄・褥瘡予防ケアチーム

活動目標（目的）： ○羞恥心に配慮し、体調不良時、身体状況の変化に伴い尿測を実施し、個々に合った用品と排泄支援を行い、褥瘡防止に努める。

#### 〔実績・反省事項〕

- ・体調変化や、尿量の変化時は尿測を行い、適したパットや交換時間で支援する事ができました。ポディショニングに関しては、施設内研修などを行いながらレベルアップを図り、褥瘡防止に今後も務めていく。

### 4. 入浴チーム

活動目標（目的）： ○心身共にリフレッシュしてもらえるような入浴の場を提供する。  
○清潔保持に努める。

#### 〔実績・反省事項〕

- ・菖蒲湯やゆず湯等の季節を感じてもらえるようなお風呂の提供や、入浴中にコミュニケーションを図る事で気分転換や信頼関係をさらに深める事ができました。清潔保持に関しても、毎月目標を決め取り組み意識付けする事ができました。

### 5. 24Hシート・記録チーム

活動目標（目的）： ○24Hシートを活用し、入居者に合わせた職員配置になる様努める。  
○暮らしづくりがわかる記録とケアプラン等と連動している記録になるよう努める。

#### 〔実績・反省事項〕

- ・更新の時間等が取れず、スムーズに24Hシートの更新が出来なかったこともあり、現状の入居者に合わせた職員配置（勤務時間）にならなかった。来年度は、更新がスムーズに行えるよう、業務等の見直しを行いながら時間の確保を行っていく。また、ケアプランの24Hシートへの反映の仕方の見直しを行い連動性の確認を行っていく。

### 6. 感染対策委員会

活動目標（目的）： ○特養・グループホーム内での不要な感染症の発生を、出来る限り防ぎ、入居者に安心して生活を送っていただく。

#### 〔実績・反省事項〕

- ・施設内における感染症の発生はなかった。
- ・月 1 回委員会を開催し新型コロナウイルス対応についての対応や手順の見直しを検討し、スタッフに周知した。必要時は臨時の委員会も開催した。
- ・ユニット内を訪れ、換気等の指導をした。

## 7. 吸引等安全対策委員会

活動目標（目的）： ○吸引等の特定行為を適切、安全に行う為の実施・教育。

〔実績・反省事項〕

- ・7月に医療的ケアの研修会を開催した。
- ・今年度も、2回/年の医療的ケア研修を開催予定。

## 8. 防災委員会

活動目標（目的）： ○あすなろ・ぽっかぽっかの家における防災計画及び訓練の実施。

〔実績・反省事項〕

- ・9月及び3月にあすなろ、ぽっかぽっかの家の合同消防訓練を実施。コロナ感染拡大防止に努めている期間中なので、図上による訓練とし、フローア会議に参加する職員のみで行い、消防署との対応や避難誘導等のマニュアルを作成し職員全員で共有することができた。

## 9. 行事委員会

活動目標（目的）： ○季節ごとの行事を行う事はもちろんの事、入居者の生きがいづくりを行う。

〔実績・反省事項〕

- ・コロナ禍という事もあり、家族や地域との交流の場を設ける事は出来なかったが、入居者の方に楽しんでもらえるよう、夏祭りや敬老会・忘年会等行う事が出来た。今後も、感染対策をしっかりと行いながら、入居者の思いを形にし、行事等企画運営

し

ていく。

## 10. 苦情解決委員会

活動目標（目的）： ○円滑かつ迅速に苦情に対応することで、個人の権利擁護を図るとともに、サービスの適切な支援をする。

〔実績・反省事項〕

- ・特に苦情はなかった。今後も入居者の人権を尊重するべく支援して行く。
- ・本人、家族の意向を確認し、連絡を密に取りながら、苦情を未然に防ぐ。

## 11. 入居判定委員会

活動目標（目的）： ○入居判定過程の透明性、公平性を確保するとともに、入居の必要性の高い申込者が円滑に入居できること。

〔実績・反省事項〕

・今年度の退去者が8名であったため、入居判定会議も8名の判定会議を行った。  
医療頻度の低い状態の安定した方が入居対象であることから、申し込み人数は多  
くても、追跡調査や事前調査等行くと、状態等が変化し入居に該当しない待機者が  
多くみられた。

12. 研修委員会

活動目標（目的）： ○法人にとっての人材となるべく「自らの力量を高める」

〔実績・反省事項〕

・職員手帳やケアマニュアルを基に施設内研修を行う事で、職員の目的や意識が共通認識とする事が出来良かった。引き続き、施設内研修を行いながら職員の質の向上に努める。今年度は、コロナ禍の為、外部研修にほとんど参加出来なかったため、来年度は外部研修にも参加していきたい。

13. 広報委員会

活動目標（目的）： ○広報（お達者だより）を通じて、やまどり福祉会の活動や入居者の暮らしぶりを家族、地域の皆様に知って頂き、気軽に足を運んでもらえるようにする。  
○入居者に思い出を振り返って頂けるような広報を作る。

〔実績・反省事項〕

・今年度は、コロナ禍で家族との面会も自由には行えなかったため、毎月暮らしぶりや、様子を伝えようとユニット毎にお便りとして発行した。家族からは、「様子が分かって嬉しいです」との声を多くいただけて良かった。来年度は、通常通り全体での広報として作成し、地域の方にも施設の取り組みや、暮らしぶりを伝えていく。

V. 地域密着型特別養護老人ホームすずの里の取り組み課題に対する反省

地域密着型特別養護老人ホームすずの里	29床	創設
ショートステイ すずの里	10床	創設

目標1から目標4については「あすなる」と同様

目標1 入居者の尊厳のある生活を保障するため、ユニットケア(個別ケア)の理解と実践をとおり、サービスの質の向上や環境改善に取り組みます。

〔実績・反省事項〕

令和3年3月開所し、職員の採用状況から8月までは2階の20床9月からは1階の9床のサービスを開始し9月中には満床となった。ショートステイについては、令和4年3月から徐々に利用者を受け入れている。

あすなろ同様、家族などとの面会や外出等については、制限はあるものの、感染症対策のルールを徹底することで、ある程度緩和できた。地域との行事や交流に関しては、コロナ禍のため行うことができなかった。職員についてもあすなろ同様、自己責任の範囲内での行動制限にとどめ、心配な時は抗原検査キットを使い確認することとした。職員1名家族からの感染で患ってしまったが、施設入居者、職員には感染を防げた。

地域の感染状況を鑑みながら行動し、「ウイルスを持ち込まない」を実践している。

入居者のストレスに対応するべく、その人らしい暮らしのリズムに合わせ、できる範囲での気分転換できるような行事やドライブや近隣を散歩するなどの外出、ご家族とのガラス越しでの面会を実施した。

目標2 コロナ禍の中で社会情勢を鑑み、地域包括ケアの担い手、地域住民の一員として括ケアの担い手、地域住民と関係機関と連携を図り、地域課題への活動を積極的にを行います。地域の方が参加でき、ともに活動できる場を提供します。

〔実績・反省事項〕

地域との交流、外部講師の受け入れ、ボランティアの受け入れ等、一切実施できなかった。サークル活動については、職員と共にフラワーアレンジメントや習字、小物づくり、料理等楽しんだ。

目標3 基本理念に基づいた職員像、業務の標準化、職員育成及び研修プログラムの確立

により、職員が仕事を通じて成長と達成を実感できる職場環境を目指します。

法人職員としての意識の統一と自己成長につなげる職員教育を実施します。

〔実績・反省事項〕

施設内 OFF-JT

- 4月 理念 ユニットケア 排泄ケア
- 5月 看取り、精神ケア
- 6月 医療・管理体制
- 7月 プライバシー保護
- 8月 感染対策 リスクマネジメント・身体拘束
- 9月 認知症ケア 記録研修
- 10月 防災教育 ユニットケア
- 11月 感染症予防
- 12月 リスクマネジメント・身体拘束 虐待防止
- 1月 認知症
- 2月 個別ケアの基本 24Hシート
- 3月 栄養管理

## 施設外 OFF-JT

- 8月 安全対策担当者養成研修（リモート）
- 2月 ユニットリーダー研修（リモート）

施設内 OFF-JT は計画通り実施できた。必ず全員が受けられるよう研修は業務時間内に 2 回開催した。制度改正により安全対策担当者研修の受講が求められ、実施することができた。

目標 4 コンプライアンスの徹底、リスクマネジメント体制を運用することで入居者や職

員が安心・安全の中で暮らし、働ける環境を目指します。

### 〔実績・反省事項〕

ヒヤリハット、発見シートなどを活用し、入居者一人ひとりのリスクマネジメントを

強化し、大きな事故もなく過ごすことができた。

コロナ禍 2 年目となり、新型コロナウイルス感染防止対策を再度確認し、「ウイルスを持ち込まない」よう、職員一人ひとりの意識の統一、強化を図ることができた。

## ※ 各ユニットの年間目標に対する実績と反省（評価）

- すずの里 -

### あずみユニット

〔年間目標〕 「笑顔で関係づくり」

- ・元気で明るく笑顔であいさつ
- ・苦手意識の克服
- ・入居者の情報（興味がある事や人となり）をスタッフ、家族間で共有する

### ◆ 4月～6月の重点目標

- ・挨拶の励行（元気で明るく）
- ・相手へのリスペクト
- ・相手を知る為コミュニケーションを心がける

### 〔実績・反省事項〕

- ・出勤、退勤時にユニット職員とリビングに居る入居者へ挨拶するよう心掛け実践した。
- ・入居者はもちろんであるが、職員同士でも経験年数の大小にかかわらず、敬意をもって接する事ができた。
- ・業務の遂行、又は改善するにあたり、どのような意味でその業務を行うのかをリーダー、サブリーダーが中心になって、職員同士でのコミュニケーションを取った。入居者に対しても、24 時間シートを作成する前段階での情報収集のためのコミュニケーションを取った。

◆7月～9月の重点目標

- ・24Hシート、申し送り等で情報が共有できているか再確認する
- ・少しずつ外に出られるよう働きかけていく（コロナワクチン接種状況による）
- ・健康管理

〔実績・反省事項〕

- ・24時間シートの作成を行った。申し送りでの情報共有は出来ていたが、その情報を24時間シートに落とし込むという点では課題が残った。
- ・ワクチン接種は予定通りに接種したが、感染の再拡大の為に外出は難しいと判断し出来なかった。
- ・ワクチンの副反応で職員数名の発熱があったが、それ以外での体調不良は無く、健康管理は出来ていた。

◆10月～12月の重点目標

- ・個々の苦手な分野を割り出す
- ・周りのスタッフがどうフォローできるか考える
- ・苦手分野が自分なりに克服できる

〔実績・反省事項〕

- ・職員がそれぞれ、介護技術・PCの操作など自分の得意不得意を認識することができた。それを認識したうえで、職員同士で教え合う、一緒にやってみる等フォローをするよう心掛けた。
- ・介護技術に関しては、ある程度のレベルで克服できていたと思うが、PCの操作に関しては、まだまだ特定の職員に負担がかかっている状況である。

◆1月～3月の重点目標

- ・感染症に気をつけて体調管理する
- ・年間目標に自分がどれだけ近づいたか振り返る

〔実績・反省事項〕

- ・職員一名が、家族からの感染で新型コロナに罹患したが、それ以上は広がらなかった。又、入居者にも感染は無かった。
- ・年間目標の「笑顔で関係づくり」に関して、職員間での関係づくりは良好に出来た。対入居者に関しては、一部入居者が、特定の職員との関わりを拒否した（事実関係を確認したところ、ほぼ入居者側の思い込みによるものであった）と言う事があったが、それ以外ではおおむね良好な関係を築けたように思う。

**せおとユニット**

【年間目標】 精一杯、日々お互いをほめ合い、高めあい、思いやり入居者一人一人の生活を大切にしながら、共に楽しく笑い声あふれるユニットを目指していく。

◆4月～6月の重点目標

- ・笑顔で挨拶をする
- ・入居者、職員、家族がなじみの関係を築けるようにする

- ・暮らしに合わせた環境作りを行う

〔実績・反省事項〕

- ・新型コロナウイルスの為、思う様に面会が出来ない中、ご家族とこまめに連絡を取り、また、毎月のお手紙などで暮らしぶりを伝える事が出来た。
- ・一人一人の意向を確認することができたが、居室環境を整える部分では、もう少しご家族に協力をお願いしても良かったのではと思う。

◆7月～9月の重点目標

- ・言葉遣いに気をつけ、入居者や家族と積極的にコミュニケーションをとっていく
- ・外出や行事などを企画し、入居者と一緒に楽しく過ごす
- ・入居者が安心して暮らせるように、職員、多職種と情報共有しながら24Hシートを見直し支援する

〔実績・反省事項〕

- ・入居者とのコミュニケーションはもちろんの事、ご家族にも顔と名前を覚えてもらえた。
- ・感染予防に努めながら行事の企画、実施ができた。外出は出来なかった。
- ・24時間シートの入力方法をユニット職員に周知できたが、完成までは出来なかった。

◆10月～12月の重点目標

- ・季節の特色を活かした食事や、入居者の食べたい物を取り入れ食事を一緒に楽しむ
- ・職員間で意見やしつもんなどを出し合い、常に前向きに取り組んでいく

〔実績・反省事項〕

- ・家事支援職員を中心に毎月行事食を行なえた。入居者様の今食べたい物に注目し、実施する事ができた。
- ・ユニットスタッフ内で話しやすい環境と、時間の確保を持てた。話あった内容を実践、反省まで持って行きたい。

◆1月～3月の重点目標

- ・衛生管理を行い、感染予防に努める
- ・入居者の暮らしぶり、好みがわかるように24Hシートを見直し情報共有する

〔実績・反省事項〕

- ・共有スペース、居室などの消毒がしっかりできた。職員で声を掛け合いながら毎日複数回行えた。
- ・24時間シートの見直しについて、毎月のユニット目標にも掲げ、力を入れて実施できた。

**しみずユニット**

【年間目標】

- ・入居者、職員が暮らしやすいユニットを目指す

(9月から受け入れ開始)

●10月～12月

- ・入居者、職員、家族がなじみの関係を作る
- ・他職種も含め、知り得た情報を共有し、24Hシートに反映させる

〔実績・反省事項〕

- ・毎朝、挨拶に心がけ、部屋で過ごされる方にも自分から声かけ名前や顔を覚えてもらえるようにした。ご家族にも面会時は名前を伝えるようにし、電話で相談や報告する事を意識しながら少しでもご家族との関係を身近な物に出来るように努めた。
- ・24Hシート作成については、入居者の情報収集は出来たが、ご家族の思いや希望を伺う事に欠けていた。また、意向好みの追加、介護手順の変更、他職種からの情報をその都度修正変更する事が出来ず、今後しっかり取り組んでいきたい。

●1月～3月

- ・入居者が暮らしやすい環境を作る
- ・24Hシートの情報を元に一人一人のペースに合った支援をする

〔実績・反省事項〕

- ・リビングや居室の設えは暮らしやすい環境になったと思うが、思いを口に出せない方がいるので、すべて暮らしやすい環境になったとは言えない。思いを口に出せるような環境作りを継続していきたい。1人1人のペースにあった支援をしてきたが、状況によっては、なかなか難しい時もあった。個々の情報もまだ不足な部分もあるので引き続き情報収集を行い、活用できる24Hシートを作成し1人1人のペースにあった支援を行っていきたい。

せりだユニット

【状況報告】

- ・2月は受け入れ準備として、書類作成・物品の購入・備品の準備をおこなった。
- ・3月からショート受け入れ開始している。現在は、利用者は数名であるが、一つ一つの思いに寄り添い『すずの里で良かった』と利用者、家族が感じてもらえるように支援していきたい。

※ 各職種の年間目標に対する実績と反省（評価）

- すずの里 -

1. 介護主任

「重点目標」

- ・入居者、家族との信頼関係をつくる（施設の魅力を伝える）
- ・ユニットスタッフの人財育成（個別ケアの楽しさ大切さを理解してもらえる）

●4月～6月の目標

- ・リーダー、サブ、ユニットスタッフの育成

- ・入居者の暮らしぶりを感じ取る

〔実績・反省事項〕

- ・毎月行うリーダー会議やユニットミーティングなどで、個別ケアの楽しさや難しさなどアドバイスを行ってきた。個々の考え方や介護経験数によって捉え方の違いを感じ、個々の指導が重要と感じた。

- ・積極的にユニットに出向き、ユニットの手伝いや入居者の些細な表情や会話などを大切に肌で感じ取れるように行ってきたが、すべての入居者の細かい情報まで把握できず戸惑うこともあり、ユニット職員と情報共有をしっかりとする必要があった。

### ●7月～12月の目標

- ・リーダー、サブ、ユニットスタッフの育成

- ・24Hシート作成研修、しっかりしたケース記録

- ・入居者と家族との信頼を深める

〔実績・反省事項〕

- ・9月から「しみず」ユニット稼働開始。新規採用職員には、新人研修を実施。また、個別面談を通して指導を行った。個別ケアの対応を理解できるまでの説明指導が上手くできず、ユニットに出向き直接アドバイスも行った。

- ・24Hシートについては、システムの使い方に慣れるまで戸惑いもあったが、作成、記録の仕方など研修会を行い、ある程度のベースを作成することが出来た。情報入力ที่ไม่十分な点も多々みられているので、継続して研修会を行っていきたい。

- ・コロナ禍で家族との面会に制限があり、窓越し面会を実施する事で、家族と入居者の思いを形にすることができた。面会の際には、家族と信頼を深めるため積極的に挨拶や施設での様子を報告した。

### ●1月～3月の目標

- ・年度の反省

- ・人財育成の評価

〔実績・反省事項〕

- ・ユニットミーティング、個別面談、振り返りシートを使用して、ユニットとしての反省や各々一年間の反省と来年度の取り組みをしてもらった。全体を通して各分野での知識を深めることが足りなかった。来年度は研修を強化していきたい。

- ・人財育成の評価としては、経験が浅い職員に対しての技術指導が不十分だったので継続して個別指導を行っていく。

## 2. 生活相談員・介護支援専門員

「重点目標」 家族との関係づくり。地域との連携が図れる体制づくり

〔実績・反省事項〕

- ・家族との関係づくりは、ユニットスタッフとも協力し、細やかな対応を心掛け実践できている。
- ・コロナ禍においても、入居者と家族との関係が希薄にならないように、感染の状況を踏まえつつエビデンスに基づいた面会の介助を行うなど、家族との信頼関係の構築も取り組んでいる。
- ・地域との連携は、広報誌を通して施設内のことを知ってもらえるよう取り組んだ。
- ・喫茶すずの活用は、民生委員の会議等に利用している。
- ・ケアプランの作成は半年に1回のサービス担当者会議において決定し、家族への配布と署名をもらうことができている。

### 3. 看護師

#### 「重点目標」

- ・入居者個々の医療ニーズを把握し体調の変化に対応出来るようにする。

#### 〔実績・反省事項〕

- ・入居時、家族や入居者より医療ニーズの把握に努め、希望に沿ったケアを実践している。
- ・ユニットスタッフや多職種と連携し、入居者の情報共有を行ない、体調の変化を見逃さないようにしている。
- ・入居者の体調に変化がみられる時は、嘱託医との連絡を密に行ない対応している。

## ※ 各委員会

### 【すずの里】

- 1・安全対策検討委員会（事故防止 リスク） 身体拘束廃止委員会  
活動目標（目的）・施設マニュアルの作成・事故の検討分析し事故防止につなげる

#### 〔実績・反省事項〕

- ・基本となる大まかなマニュアルは作成できていたが、施設に沿ったマニュアルを検討してきたが完成できなかった。来年度も継続してマニュアルの作成に取り組む。
- ・毎月、委員会を開催することで、事故について検討することができた。また、普段からスタッフ間でも事故報告・ヒヤリハットなどの内容対策を共有でき事故防止にも繋がっていた。軽傷（あざ）報告も細目に出ていて、来年度も継続していく。

- 2・食事支援委員会

- 活動目標（目的）・皆で楽しく、おいしく食事ができる
- ・食事から季節を感じられる

〔実績・反省事項〕

- ・入居者様の要望があったものをユニットの行事食で提供した。
- ・季節の行事食をユニットで開催し、入居者に楽しんでもらった。
- ・日々のおやつで季節感のあるものを提供した。
- ・普段の食材に季節の野菜を取り入れた。

3・排泄委員会 褥瘡委員会

活動目標（目的）・入居者個々に合ったベストなアイテムを選び、排泄不快、皮膚トラブル、褥瘡を防いでいく

〔実績・反省事項〕

- ・施設開設してから、入居者の状況を把握しながら尿測を実施してきた。尿測データを基にパット選定と交換時間を決定し対応できた。
- ・大きな反省点は、業務の都合で委員会開催の回数が少なく排泄ケアに関して充実した検討が出来なかった。特に、排便管理の取り組みが出来なく、下剤や摘便処置が多くなり排便を促すための、基本的なトイレ誘導を行う取り組みができなかった。

4・24Hシート、記録員会

活動目標（目的）・目安として活用できる24Hシートの作成  
・勉強会の開催

〔実績・反省事項〕

- ・導入されたシステムを最低限使いこなせるまで、分からない点や不慣れなところがあったが、委員が率先して確認し操作できるように対応できた。委員会の開催と勉強会に関しては、予定していた開催回数を行うことができず、来年度は計画通り実施していく。
- ・24Hシートについては、情報、サポート内容が不十分な点があるが目安として使用できる24Hシートは作成できた。

5・感染対策委員会 看取り委員会

活動目標（目的）・研修会の開催、感染対策予防（コロナ・インフル・ノロ）を行いながら快適に安心して暮らせる  
・看取り時の対応と検討を行いながら、支援を振り返る

〔実績・反省事項〕

- ・コロナウイルス感染拡大に伴い、日頃から手洗い、手指消毒、出勤時による体調確認、研修会を実施しながら、施設に持ち込まない取り組みを行ってきた。施設内での感染はなく、今後もしっかり継続していく。
- ・委員会を通じて、感染マニュアル作成に取り組み、基となるマニュアルは完成し、今後は細かい点の修正を行い仕上げていく。
- ・看取りについては、各ユニットミーティングで入居者への支援内容や暮らしぶりなど振り返りを実施し、今後に活かせるように取り組むことができた。

## 6・広報、行事委員会

活動目標（目的）・ご家族へ年4回、地域に年2回の広報を発行する  
・各ユニットで日常の様子などの写真を沢山撮る

### 〔実績・反省事項〕

・コロナ禍で自由に面会ができない状態だった為、入居者の暮らしぶりを家族に分かっていただけるように、各ユニット広報をきちんと発行することができた。また、地域に向けた広報は作成に戸惑い、発行が遅れたこともあったが、年2回施設の様子をお知らせすることができた。

## 7・機器管理委員会

活動目標（目的）・機器管理と保守点検を行い、常時安心して使用できる

### 〔実績・反省事項〕

・委員会を開催し、機器（ベッドセンサー・スマホ・ナースコール・インカムなど）不具合がないか確認し、安心して使用できるように取り組んだ。インカムに関しては、点検表を作成し毎日使用前点検を行うように徹底することができた。

## 8・虐待防止委員会

活動目標（目的）・虐待行為ゼロに取り組む

### 〔実績・反省事項〕

・委員会を通じて、虐待行為になりうる確認と施設内の状況を確認し、研修やユニットミーティングで周知した。虐待行為はゼロ、入居者が安心して暮らせるように今後も取り組んでいく。

## 9・防災委員会

活動目標（目的）・防災計画作成、避難訓練を実施し災害時に安全に行動できる

### 〔実績・反省事項〕

- ・消防、防災計画はしっかり作成することができた。また、点検表を使って日常点検も実施し、日頃から防災意識を高めることができた。
- ・10月に避難訓練を実施。開設後、初めての訓練で参加職員と一緒に設備説明、避難経路、避難場所、通報の仕方など確認しながら実施したが、訓練という形式ではなく防災教育的な形になってしまったことが反省である。